



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場会社名 旭有機材工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4216 URL http://www.asahi-yukizai.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 啓次
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡本 忠久 TEL 03-3578-6001
四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,845	△6.8	149	△74.0	228	△58.2	122	△51.7
24年3月期第2四半期	16,996	11.7	575	224.9	544	244.9	252	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 85百万円 (86.6%) 24年3月期第2四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.25	—
24年3月期第2四半期	2.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	49,515	37,832	76.4	387.37
24年3月期	49,812	38,041	76.4	389.49

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 37,832百万円 24年3月期 38,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	5.7	1,600	37.9	1,600	40.0	1,000	893.5	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	99,002,000株	24年3月期	99,002,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,336,610株	24年3月期	1,332,943株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	97,667,293株	24年3月期2Q	97,676,968株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、欧米経済の停滞に加え、近年著しい成長を遂げてきた中国経済の鈍化など、総体的に景気は厳しい状況で推移しました。国内においても、世界経済の低調によりデジタル家電・液晶パネル・半導体市場が低迷し、また長引く円高により民間企業の生産や設備投資は海外に向かい、国内民間設備投資は低位で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおいては、新商品の新規顧客開拓を推進するとともに、販売体制の強化や生産・調達・物流の効率化、固定費削減を実施しましたが、売上が伸びずに収益は厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,845百万円(前年同期比△6.8%)となり、営業利益は149百万円(前年同期比△74.0%)、経常利益は228百万円(前年同期比△58.2%)、四半期純利益は122百万円(前年同期比△51.7%)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 管材システム事業

当事業においては、円高の定着ならびに欧米経済の停滞や中国経済成長の減速など、経済環境の不透明感を受け国内民間企業の設備投資が低調に推移した事により、主力商品であるバルブ・パイプ・継手類の国内販売額が伸び悩み、米国のアサヒアメリカ, INC. においても半導体産業の投資減速などにより売上高が前年を下回りました。さらにエンジニアリング部門においても、工事案件が減少し売上高が大きく減少しました。「Dymatrix™」シリーズでは、昨年、新規ラインアップした「Falconics™」が、製品性能を高く評価され国内にて順調に販売を伸ばしましたが、半導体市況の冷え込みにより既存製品の韓国向け輸出が大幅に減少したため販売額が減少しました。電子機器向け洗浄装置を製造販売するエーオーシーテクノ(株)は、太陽電池向け装置の販売が減速し、売上高は前年を下回りました。このような中、きめ細やかな技術サービス提供のため専門組織を設置し販売活動を強化する体制を整え、また生産・調達・物流の効率化を図るため組織再編を実施し、さらに固定費の削減を推進しましたが、売上高減少による利益減少をカバーするには至りませんでした。

その結果、当セグメントの売上高は9,996百万円(前年同期比△9.4%)、営業利益は267百万円(前年同期比△57.2%)となりました。

② 樹脂事業

主力の鋳物用樹脂及びRCSは、主力市場である国内自動車生産が回復基調にあるものの、エコカー補助金政策の終了に伴う国内自動車販売の減速、および円高による国内自動車メーカーの海外生産への移行や部品の海外調達の影響を受け、国内での販売額は減少しました。一方、中国の鋳物用フェノール樹脂製造販売会社「旭有機材樹脂(南通)有限公司」は、堅調な現地自動車関連会社向け販売を中心に業績が順調に推移しました。発泡材料用樹脂は、高性能ノンフロン現場発泡システム「ゼロフロン®ER」のブランドの浸透が進み、積極的な営業展開により設計折込みの件数を伸ばし、売上高が増加しました。電子材料樹脂は、不安定な需給環境に柔軟に対応できた事により売上を伸ばしました。ゴム・建材・耐火物用途を中心とする一般工業用途樹脂は、建材用途向けが低調に推移したことにより、大幅に売上が減少しました。樹脂成形材料は、国内自動車産業分野で金属代替用途での新規採用があり、微増収となりました。利益面においては、売上高の減少による減益に加え、愛知工場にて全面リニューアルした固形樹脂設備の稼働による減価償却費の増加が、利益を大きく圧迫しました。

その結果、当セグメントの売上高は5,850百万円(前年同期比△2.0%)、営業損失は116百万円(前年同期の営業利益は26百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は49,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円減少しました。これは愛知工場リニューアル等に伴う有形固定資産の増加がありましたが、受取手形及び売掛金などの減少によるものです。負債は11,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少しました。これは愛知工場リニューアル等に伴うその他流動負債の増加がありましたが、支払手形及び買掛金の減少によるものです。純資産は37,832百万円となり、前連結会計期間年度末に比べ209百万円減少しました。これは支払配当金が四半期純利益よりも大きかったことと、その他有価証券評価差額金が減少したためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年7月31日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,535	6,997
受取手形及び売掛金	13,630	11,725
たな卸資産	7,185	7,093
その他	898	905
貸倒引当金	△25	△20
流動資産合計	26,222	26,700
固定資産		
有形固定資産	13,318	14,064
土地	6,032	6,034
その他（純額）	7,286	8,030
無形固定資産	293	269
投資その他の資産		
投資有価証券	5,310	3,892
その他	4,690	4,611
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	9,978	8,481
固定資産合計	23,590	22,814
資産合計	49,812	49,515
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,898	6,125
短期借入金	38	39
未払法人税等	79	23
その他	2,122	2,814
流動負債合計	9,137	9,000
固定負債		
退職給付引当金	1,327	1,363
役員退職慰労引当金	193	200
その他	1,115	1,119
固定負債合計	2,634	2,682
負債合計	11,771	11,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	25,740	25,569
自己株式	△557	△558
株主資本合計	38,663	38,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47	△135
為替換算調整勘定	△574	△524
その他の包括利益累計額合計	△622	△658
純資産合計	38,041	37,832
負債純資産合計	49,812	49,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	16,996	15,845
売上原価	11,926	11,256
売上総利益	5,070	4,590
販売費及び一般管理費	4,495	4,441
営業利益	575	149
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	26	23
持分法による投資利益	19	19
有価証券償還益	—	107
その他	39	26
営業外収益合計	88	177
営業外費用		
支払利息	9	1
複合金融商品評価損	11	17
為替差損	56	57
支払補償費	35	—
その他	7	23
営業外費用合計	119	99
経常利益	544	228
特別利益		
固定資産売却益	65	—
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	70	—
特別損失		
固定資産除却損	148	39
投資有価証券評価損	—	11
災害による損失	14	—
特別損失合計	162	49
税金等調整前四半期純利益	452	178
法人税等	200	56
少数株主損益調整前四半期純利益	252	122
四半期純利益	252	122

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	252	122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182	△83
為替換算調整勘定	△21	51
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△4
その他の包括利益合計	△206	△37
四半期包括利益	46	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46	85

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,030	5,967	16,996	—	16,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,030	5,967	16,996	—	16,996
セグメント利益（営業利益）	625	26	651	△76	575

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,996	5,850	15,845	—	15,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,996	5,850	15,845	—	15,845
セグメント利益又は損失（△） （営業利益又は損失（△））	267	△116	151	△2	149

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。